一般廃棄物焼却炉に係る別紙２の排出ガス量（乾き）算出方法

　一般廃棄物焼却炉について、別紙２の排出ガス量（乾き）を算出する際には、次のとおり、大気汚染防止法に基づく測定結果から施設ごとに算出してください。

　なお、簡易に算出するためのエクセルファイルを作成していますので、必要な場合は、次のホームページからダウンロードください。

『主要ばい煙排出者の方へ』ホームページアドレス

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/photochemistry/p23608.html

算出方法

１　乾き排出ガス測定記録を準備する。

２　測定時の焼却量（ｘ）、実測の乾き排出ガス量（ｙ）から、最小二乗法により次の近似式を求める（※）。

　　　　ｙ（乾き排出ガス量）＝ａ×ｘ（焼却量）

３　近似式のｘに別紙２で算定した施設の重油換算使用量の常用最大（Ｇ’）に相当する量を当てはめ、常用最大に相当する量に対応する乾き排出ガス量を算出する。

※　実際は空気比が異なるため、酸素濃度を考慮すべきところですが、算出を容易にするため変数からは除外していますので、酸素濃度が大幅に他の測定データと異なる測定データは、近似式を求める最小二乗法のデータからは除外してください。

　　また、焼却量が０の場合は乾き排出ガス量が０となるような近似としてください。